

七宗大径材生産展示林

1 設定の目的と取扱い

七宗国有林は明治22年以降、永々と植栽が進められてきました。初代の造林地で現存する唯一人工林として保存されています。森林管理の歴史を語る展示林です。

2 場所等

加茂郡七宗町大字七宗山 七宗国有林1207ち林小班 機能類型：水土保全林（水源かん養タイプ）
 // 1211は林小班 機能類型：水土保全林（水源かん養タイプ）

3 面積 1207ち林小班 3.02ha（林地2.85ha・林道敷0.17ha）
 1211は林小班 0.43ha（林地0.38ha・林道敷0.05ha）

4 施業等の概要

作業	1207ち	1211は
植付	明治26（1893）年 3,240本/ha植栽 ヒノキ74%、スギ26%	明治31（1898）年 スギ4,300本/ha植栽
下刈	明治26～31年	明治31～37年
除伐	大正6、9年	明治42、大正3、11年
枝打	明治45、大正5、13、昭和17年	明治45、大正5年
間伐	昭和58年	—
間伐	平成20年	平成20年

5 調査計画等

林分の推移について観察を行い、必要に応じて成長調査等を実施する。また、歩道等の維持管理を継続する。

6 地況

標高	450m～520m
平均林地傾斜	26度
方位	北東
土壌型	B D (d)

7 林況

沢筋にはスギ、尾根筋にヒノキが植栽してあり、生育は良好である。林床にはかん木類が広く生育しているが、過去の台風等により一部風倒木が発生し、表土の露出が見られる。

※平成20年度調査による（スギ毎木調査法 ヒノキ標準地調査法）（H21年度作成）

林小班	樹種	面積 (ha)	本数 (本)	材積 (m ³)	平均胸高直径 (cm)	平均樹高 (m)
1207ち	スギ	0.81	191	570	49	34
	ヒノキ	1.88 (0.16)	895	1,215	38	26
	計	2.69 (0.16)	1,086	1,785	40	27
1211は	スギ	0.38	127	507	58	34
	計	0.38	127	507	58	34
計	スギ	1.19	318	1,077	53	34
	ヒノキ	1.88 (0.16)	895	1,215	38	26
	計	3.07 (0.16)	1,213	2,292	42	28





※面積欄の（ ）書きは、平成10年台風7号による被害面積0.16ha外書き

205

七宗大径材生産展示林

206

211

-  スギ
-  ヒノキ
-  ヒノキプロット
-  作業路

2

220

2



